



開会あいさつをする大平氏



真ん中世代のチャレンジキャラバン

暮らし 平和 希望 を語りあおう

真ん中世代（30～50代）のみなでつながり、学び行動する「チャレンジの秋」にしよう！
9月7～20日、大平よしのぶ衆院中国比例予定候補が中国5県を駆けめぐります。

キャラバン初日の7日は広島からスタート。秋に開催するフェスのプレ企画として、広島と福山の2カ所で吉良よし子参院議員を招いたつどいが行われ、27人の若者や真ん中世代が参加しました。

吉良議員からの『差別・排外主義は許さない』のうたえに多くの共感が広がった。「のべ900人のJCPサポーターが当選を支えてくれた」などの訴えに、参加者の感動と確信が広がりました。

終了後は福山駅前でシール投票対話を行い40分間



で35人と対話、4人が大平LINE公式に登録しました。

「外国人は日本から出ていってほしい」と話す中学生と対話に。「犯罪とか多いっていうし、なんか怖い」との意見に、大平氏は「いまや日本に住む外国人は300万人以上、国際結婚も当たり前。ほとんどの人は平穏に暮らしているのに一括りにして出ていけというのはちょっと乱暴

ではないだろうか。外国人の犯罪件数はむしろ減っているですよ」と話すと、「たしかにそうかも」と納得した様子。大平氏は「対話の重要性を痛感しました」と語りました。



福山駅前に対話する大平氏

TOPICS

庄原市で農協幹部と懇談 8/29

「そもそも国の収穫量の見通しが甘い」「長年の減反政策で水田に戻すことは簡単ではない」「インボイス導入で高齢の零細コメ農家の負担がとて増えた」「コメ不足だからとアメリカからの輸入米を増やすことがあってはならない」など憤りの声が次々。



大平氏は、『増産』の掛け声だけでなく、自民党農政の失敗を認め、農家の所得を保障する施策へ抜本的転換が重要ですね」と話しました。

新婦人中国5県政府交渉 9/5

「女性たち、子どもたちの願いを石破政権に直接ぶつけたい」と各県から代表が上京し、オンラインもつなぎ総勢70人以上が参加しました。仁比そうへい参院議員と大平氏も同席しました。



平和の問題では、中国地方各地で進む戦争準備がどれほどの深刻な被害と不安を強いているか、会員たちが怒りを込めて告発。原発や中間貯蔵施設の建設予定地の周辺で暮らす会員からも、「自然豊かなこの町でこれからも住み続けたい」という当たり前の願いがなぜ踏みじられなければならないのか、原発を止め、建設は中止を、と正面から訴えました。

PR

10.2 START
しんぶん赤旗
日曜版電子版
ぜひお読みください



日曜版ってどんな新聞？

自民党派閥の裏金スクープ
「赤旗」が最初に暴きました。独自の追及・鋭い調査で裏金を伝え社会を動かすメディアです。

「NO WAR」「排外主義許すな」
いま日本で、そして世界中で人々が立ち上がり、声をあげています。こうした声を可視化し、連帯を広げます。

お役立ち情報いろいろ
1週間分のレシピ、スポーツ、読書、旅、映画、音楽、生活相談に著名人へのインタビューなど。



日本共産党
公式YouTubeチャンネル
登録をお願いします

「しんぶん赤旗」
3週間無料キャンペーン
お申し込みはコチラ

